■**珍田捨巳** 外交官。青年時の明治天皇巡幸の際の英語での御前講演に始まり、最後は昭和天皇即位直後の侍従長。

ちんだすてみ

松下村塾・・・1856＝ 陸奥国津軽郡弘前城下で、津軽藩士珍田有孚の長男に生まれる。

桜田門外変・1860＝ 4歳：

薩摩藩士密航1865＝ 9歳：

明治維新・・・1868＝12歳：藩校稽古館に入り、和漢学を修め、

英学専修生の命を受け、
学問のすすめ1872＝16歳： 新設の東奥義塾に入り、本多庸一校長の薫陶を受ながら、米人教師などに就いて英語を修め、

明治6年政変 1873＝17歳：

佐賀の乱・・・1874＝18歳：本多庸一校長の元で東奥義塾の職員になる。

三つの内乱・1876＝20歳： 明治天皇東北地方巡幸の際、青森小学校で英語で御前講演を行ない、

西南戦争・・・1877＝21歳： 卒業するや渡米、インディアナ州インディアナ＝アスペレー大学に学び、

アメリカ事情と語学に通暁する貴重な存在となり、

明治14年政変1881＝25歳： 卒業して帰国、東奥義塾の教頭になる。

新体詩抄・・・1882＝26歳：元弘前藩家老の娘と結婚。

岩倉具視没・1883＝27歳：

内閣発足・・・1885＝29歳：妻の兄の世話で外務省に入り、御用掛となり、

帝国大学始・1886＝30歳：メソジストの弘前教会の副牧師になる。

初の対等条約1888＝32歳：電信課長となる。

帝国憲法発布1889＝33歳：

帝国議会始・1890＝34歳：サンフランシスコ在勤領事となると、日本人排斥運動がアメリカに起こるであろうことを予想して、賭博場や売春宿などの問題を指摘、日本本国に報告するなどして移民制限を促し、

大本教・・・1892＝36歳：

日清戦争始・1894＝38歳：仁川在勤領事となり、

日清戦争終・1895＝39歳：上海在勤総領事に移り、各地の専管居留地設定などに努力。

八幡製鉄始・1897＝41歳：ブラジル駐箚弁理公使、

Bushidou・・・1899＝43歳：オランダ駐箚公使、

ピアノ国産化・1900＝44歳：ロシア駐箚公使にそれぞれ任命された。

田中正造直訴1901＝45歳：外務総務長官に就任し、小村寿太郎外相などを輔佐して省内を統轄。

日露戦争終・1905＝49歳：*日露戦争後の講和条約締結交渉でロシアとの交渉に手古摺っていた小村寿太郎に、桂太郎首相のもと、適切な訓令・資料を送ってなんとか締結に持ち込み、

韓国反日暴動1907＝51歳：日米紳士協約。_その功で、男爵。

アライ創刊・1908＝52歳：ドイツ駐箚大使に任命され、条約改正交渉に努力。

韓国併合・・・1910＝54歳：

大逆事件判決1911＝55歳：米国駐箚大使に任命され、排日問題の処理と文化交流などに苦心。

明治天皇没・1912＝56歳：

大正政変・・・1913＝57歳：*カリフォルニア外国人土地法論議の際には、ウィルソン米大統領に法案通過阻止を陳情するなど尽力。

また、現地で日本人会を組織しコミュニティの形成にも寄与。

子爵を経て、

民本主義・・・1916＝60歳：英国駐箚大使に移り、英国王室との親善に努め、またパリ会議に講和全権委員として参列。

ベルサイユ条約・1919＝63歳：

大暴落・・・1920＝64歳：伯爵の位を授かる。枢密顧問官に任命され、

原敬首相暗殺1921＝65歳：*“霞ヶ関一の切れ者”の評価を得ていたことから、皇太子の渡欧に際して、宮内大臣牧野伸顕随員から訪欧供奉長の重責を命ぜられ、

_帰国後は、宮中に入り東宮大夫となり、クリスチャンの立場から、皇太子の指導教育に携わる。

円本時代始・1926＝70歳：皇后宮大夫として良子新皇后の世話をしていたが、_皇太子が即位すると、

金融恐慌・・・1927＝71歳：_侍従長に任命されたが、

共産党事件・1928＝72歳：

世界恐慌・・・1929＝73歳：脳出血で_没した。